

米軍機 危険な曲技飛行

米軍岩国基地（山口県岩国市）所属の戦闘機一機が27日早朝、基地上空で約10分間の曲技飛行を計2回、行いました。市によると、米軍から事前の連絡はなし。市民の安全と安心を脅かす危険な飛行が強行され、市街地は爆音が相次ぎました。

午前8時すぎ、米海兵隊の最新鋭ステルス戦闘機F-35B 1機が離陸するのを、記者が滑走路のそばで確

市民「事故になりかねない」

午前8時すぎ、海面近くを低空飛行するなど広島湾を縦横に飛びました。着陸するまでの約10分間、基地の近くでは通常、見ることのない危険な飛行訓練の内容とルートで飛びました。基地は途絶えませんでした。

午前8時すぎから約10分間、上空に響き続ける騒音を聞

JR岩国駅近くの騒音測定器が記録した騒音（70秒以上、5秒以上）は、曲技飛行が始まった午前7時半と同8時すぎからのいずれも約10分間で計29件。最大値は89・4dBでした。

担当者は「問い合わせや苦情を受け、基地に懇意にしているが、まだ回答を得られていない」としています。

岩国基地の上空で垂直に急上昇する米軍の戦闘機。斜線は基地そばの堤防道路上の電線＝27日午前8時すぎ、山口県岩国市

市内の「住民投票を力にする会」の松田一志代表は「間違えば事故になりかねない曲技飛行がされたと聞いている。米軍に訓練内容などを説明するよう市に求めている」と話しています。

（酒井慎太郎）

き、庭から一機の機影が見えました。F-35Bが同じよう曲技飛行していったん着陸して給油後、同8時すぎに再び曲技飛行したものと思われます。

5月の連休に基地を一般公開するイベントでの航空ショーと前日の予行以外の曲技飛行は異例です。

市基地政策課によると、JR岩国駅近くの騒音測定器が記録した騒音（70秒以上、5秒以上）は、曲技飛行が始まった午前7時半と同8時すぎからのいずれも約10分間で計29件。最大値は89・4dBでした。

担当者は「問い合わせや苦情を受け、基地に懇意にしているが、まだ回答を得られていない」としています。